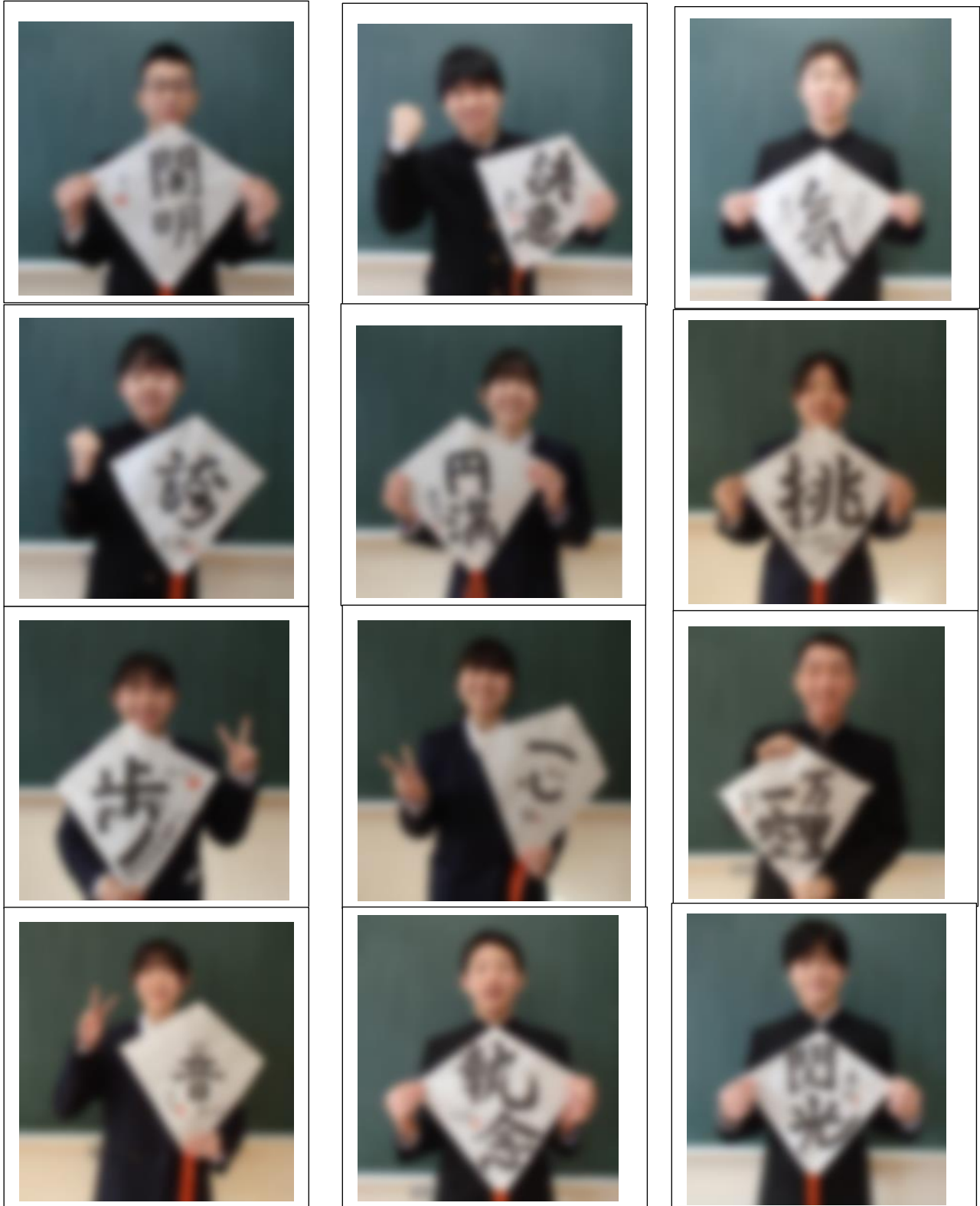
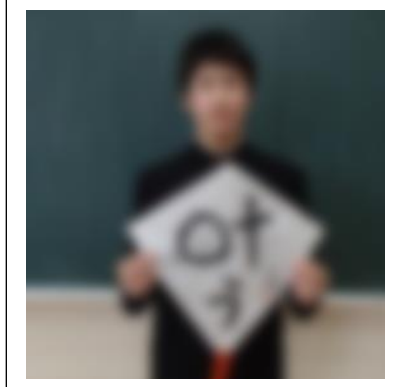
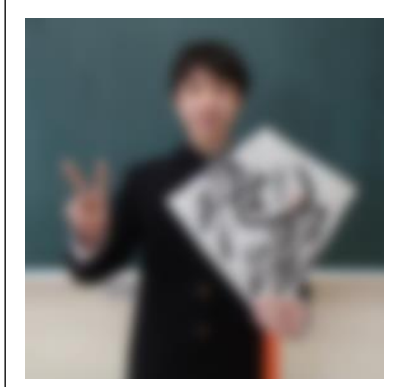
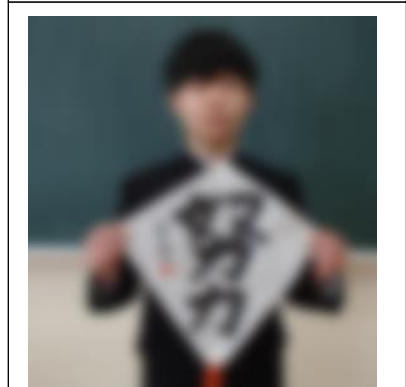
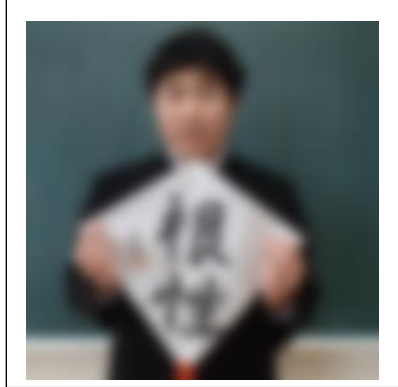
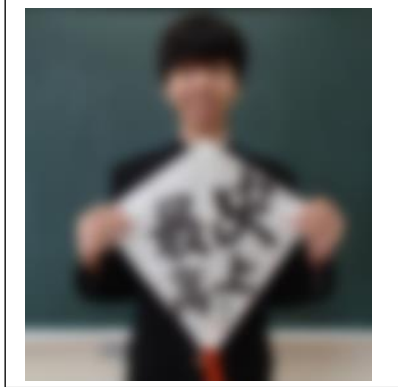
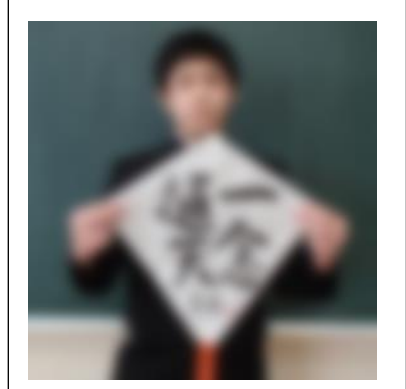
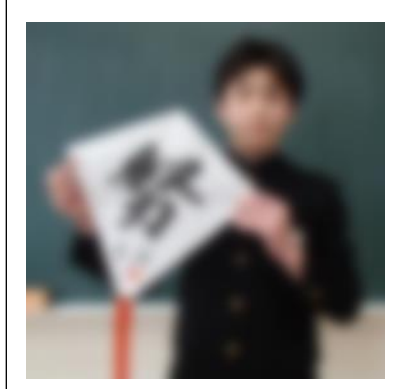
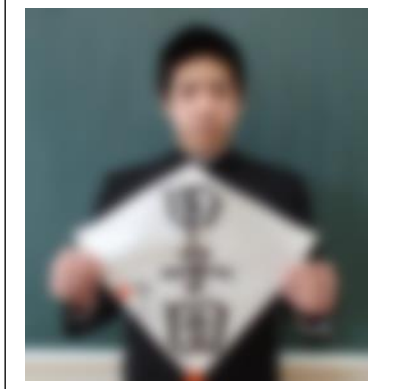
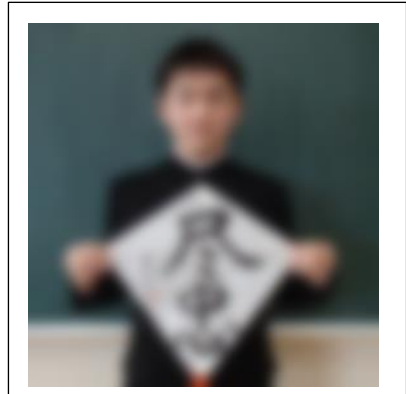
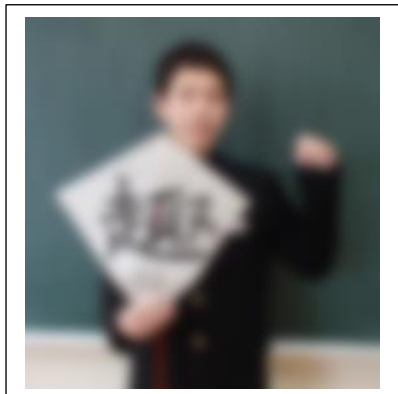
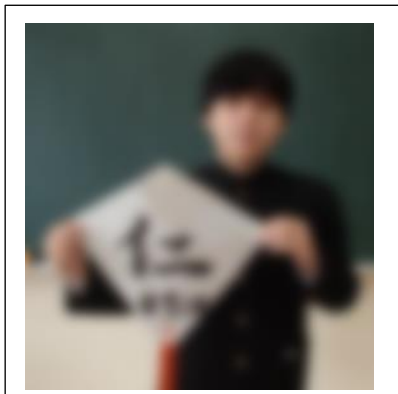




これからも続く「自分探す」道のりを大切に

入学当時は、「将来どんな人になりたいか」と問うと、漠然としている人が多かったのですが、中学3年間で、様々なことを経験しながら、「なりたい自分」の形を成してきたようです。その実現に向けて、卒業式に展示される帊にこれからの指針となる言葉を書きました。この前向きな気持ちを忘れず、上級学校でいろんなことに挑戦して、自立した素敵な大人になってほしいと思います。





卒業合唱 『遙か』 作詞・作曲：Green

窓から流れる景色 変わらないこの街 旅立つ
 春風 舞い散る桜 憧ればかり強くなってく
 「どれだけ寂しくも 自分で決めた道信じて…」
 手紙の最後の行が あいつらしくて笑える
 「誰かに嘘をつくような人になんてくれるな」父の願いと
 「傷ついたって 笑い飛ばして 傷つけるより全然いいね」母の愛
 あの空 流れる雲 思い出す あの頃の僕は
 人の痛みに気づかず 情けない弱さを隠していた
 気づけばいつも誰かに支えられ ここまで歩いた
 だから今度は自分が 誰かを支えられるように

さようなら また会える日まで 不安と期待を背負って
 必ず夢を叶えて 笑顔で帰るために
 本当の強さ 本当の自由 本当の愛と 本当の優しさ
 わからないまま進めないから 「自分探す」と心に決めた
 春風 想い届けて 涙を優しく包んで
 必ず夢を叶えて 笑顔で帰るために
 さようなら しかられることも少なくなっていくけれど
 いつでもそばにいるから 笑顔で帰るから
 どれだけ寂しくても 僕は歩き続ける
 必ず帰るから 想いが風に舞う あなたの誇りになる
 いざ行こう